

「歓喜の恵 糖鎖ローション」の

成分の特性に就いて

【3つの特徴】

1. 超低分子化糖鎖成分（フコイダン・アロエ）
2. 女性ホルモン様成分
3. 微量元素ミネラル作用

1. 細胞糖鎖の改善

「歓喜の恵糖鎖ローション」を使用することにより、筋肉・脳・皮膚等に働きかけ、ストレスの緩和、リラックス状態を得られる他、筋肉改善・皮膚トラブル改善にも、作用します。

成分に糖鎖の構成成分の単糖を配合することにより、直接細胞機能の改善に、金箔作用・ミネラルイオン作用との、相乗効果が得られます。

糖鎖ローションの成分として、主に、糖鎖栄養素を多量に含む、フコイダンやアロエ等を配合しました。糖鎖が取り入れられた時にツボ刺激のマッサージを加えると脳の視床下部に恒常性を促す働きかけが行われます。

糖鎖の作用

フコイダンの場合、皮膚老化防止効果や角質層の入れ替わり、細胞増殖速度改善にもつながりますが、高分子フコイダンと低分子フコイダンを比較した場合、高分子フコイダンの方が増殖速度7倍と優れています。しかし、浸透性に弱点がありました。今回、この高分子フコイダンの性状を損なうことなく、ナノテクノロジー技術を用いて、ナノ化する事により超低分子化し、浸透性の向上に成功しました。

フコイダンは、糖鎖構成糖のLフコースを主とし、ガラクトース、キシロース、マンノース等の単糖も含有します。

また、アロエには主としてマンノースが含有します。

アロエベラに含まれるムコ多糖類には、線維芽細胞を刺激する物質が含まれています。その為乾燥したお肌に塗ると、液による保護や水分浸透に加え、細胞内の線維芽細胞を出しやすくし、お肌も健康な状態に近づけようとしてくれます。

アロエは皮脂が不足したお肌をコーティングし、細胞間脂質の主成分ムコ多糖類を補い、乱れた肌バランスを正常な状態に近づけます。

糖鎖は、8種類の単糖

- グルコース
- ガラクトース
- マンノース
- フコース
- キシロース
- N-アセチルグルコサミン
- N-アセチルガラクトサミン
- N-アセチルノイラミン酸

のみで構成され 100 兆ほどのバリエーションを持ちます。

糖鎖の働きには、約 37 兆個存在する人の細胞一つ一つに産毛のような形でついている、レセプター(受容体)と言われるアンテナの様な物質で、1つの細胞に千~数万本程ついています。その働きは、細胞の種類や状態といった情報・ホルモンに関する情報を伝える他、生体の防御機構でもある免疫やウイルスの感染などにも関係し、細胞間コミュニケーションにも重要な役割を果たしている事も解明されています。

人間の体には、

- ★自己制御機能 (神経系・ホルモン系)
- ★異物を見つける自己認識機能 (免疫系)
- ★自己生産・自己修復機能

の三つが有り、この全てに糖鎖は関与しています。

『糖鎖』は、アンテナの働きで全ての細胞間コミュニケーションを司り、体のバランスを整える物質です。「糖たんぱく質」こそが、**情報伝達物質の本体**です。

専用の輸送たんぱく質と糖たんぱく質が合体し、糖たんぱく質という形で、働きに応じて複雑な組み合わせで構成されています。

細胞間コミュニケーションの糖鎖の働きのすごいところは、遺伝子さえも必要に応じ、コントロールできるということです。1つでも糖が欠けると、細胞は正しく情報を伝達することができません。8種類の糖が様々に組み合わさって無数のアンテナが形成され無数の情報を伝えます。アンテナの先端が触れることで、情報を取り入れてそれが何者なのかを判断しています。

栄養素と糖鎖

酵素も糖タンパクで出来ています。

しかし、糖質栄養素は、肝臓で作られますが、ビタミン・ミネラル・15種の酵素転換にエネルギーと時間がかかりすぎて、作りきれません！

また、農薬や化学汚染による土壌の悪化や、空気や水の環境汚染などに加え、最近では肉体的ストレス、精神ストレス、環境によるストレスや、薬害の影響も大きく、電気のプレーカー的役割をなす、糖鎖が正常性を失いがちになります。また、ホルモン等の識別は、糖鎖が表面に付着して「荷札」のように働きます。糖質栄養素が不足すると間違った荷札が付きます。ホルモンや化学物質等が見分けられないと、有害なものを体内に取り込んでしまうことになります。脳がストレスをカットすることにより体内への糖鎖の働きがより行われるため、脳と身体にも効果が期待できます。

2. ガイクルワ（ペラリアミリフィカ根）の作用

天然型女性ホルモン作用をするペラリアミリフィカ

ペラリアミリフィカは、タイ北部に自生するマメ科植物で、女性ホルモンに匹敵するミロエステロールという、エストロゲン活性を持つ成分を含み、又、イソフラボン含量は、大豆の数十倍ともいわれ、肌にハリを与えバストケア商品として使用されています。

今回、ガイクルワ（ペラリアミリフィカ根）を加水分解して**超低分子化し、有効微生物酵素を作用**させ、女性ホルモン作用を活性化しました。この結果、皮脂腺の酸化防止は女性ホルモンが行っているのので、細胞内に水が貯え易くなります。

ガイクルワの女性ホルモン作用は、人体の本来の女性ホルモンに作用させ、足りない分を補う為、女性生成能力を損ないません。

3. ミネラルイオンの作用

岩石抽出物の**微量元素ミネラルイオン**の作用

粒状風化花崗岩を無機酸で培養し、イオン化した抽出液です。

抽出液中のミネラル

微量元素

リチウム	神経鎮静効果
アルミニウム	酵素の働きを強める
ゲルマニウム	酵素の働きを強める

鉄	酵素の運搬
マンガン	ビタミンの働きを助ける
亜鉛	酵素の構成物質、ホルモンの構成要素
銅	酵素の抗生物質
モリブデン	酵素に不可欠物質
クロム	成長の遅れ
バナジウム	脂質の代謝
ニッケル	細胞膜の構成
ケイ素	成長促進
セレンウム	老化防止
コバルト	ビタミン B ₁₂ の構成成分
タングステン	酵素の働きを強化
バリウム	酵素の働きを強化
チタン	酵素の働きを強化

常量ミネラル

カルシウム	神経細胞を守る
リン	エネルギー代謝に関与
マグネシウム	ビタミンの保持と活性化・酵素の触媒
カリウム	神経刺激の伝達
ナトリウム	神経のコントロール

人体に多く含有しているミネラルは、水素・酸素・炭素・窒素・硫黄・塩素・ナトリウム・カリウム・カルシウム・マグネシウム・リンの11種類で、99%を占めています。その中のナトリウム・カルシウム・カリウム・マグネシウムは、金属元素で塩素とリンを加えた6種類を常量ミネラルと言います。残りの殆どの元素が微量元素です。